

謹賀新年



「誇れるまちをめざして」

大和郡市長

上田 清

明けましておめでとうございます。

さて昨年11月10日、郡山城跡が国史跡に指定されるという嬉しい知らせが届きました。

傷みが激しく立ち入り禁止となっていた天守台石垣の発掘調査、一部解体、修復、展望台の建設などと並行し進めてきた城跡全体の国史跡指定の申請に向けての作業が、多くの専門家や関係者の熱意とご尽力のおかげで、およそ10年がかりで実を結ぶことになったのです。ご支援いただいた全ての方々から感謝申し上げます。

今年は、甲子園球場がすっぽり入る広大な城内学舎跡地や西公園などの整備も本格化し、来年春には歴史公園として生まれ変わる予定ですので、どうぞご期待ください。

一方、新庁舎の建設については、昨年春の本棟竣工に続いて、旧庁舎跡地に交流棟（2階建て）の建設が順調に進んでいて、今年7月にグランドオープン予定です。

交流棟の1階には本棟1階の金魚水槽を移設するとともに、市内の福祉作業所の製品を販売するコーナーや親子たんとん広場、簡単な飲食のスペースを設置。2階には交流のためのホールや部屋を設けますが、観光客にもご利用いただけるよう休日も開く予定ですので、ご活用ください。

観光客や来訪者の玄関、近鉄郡山駅周辺の整備については県の協力を得て検討を進めてきましたが、駅の移設については近鉄も交えて役割分担や費用負担等について定める三者協定を今年度内に締結、事業が本格化することになりました。

ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

今年もシビックプライド(まちに対する市民の誇り)を大切にすまちなづくりを進めるとともに『つながり』やホームページ、LINEなどを通じた情報の発信をより一層進めてまいりますので、どうぞよろしくようお願い申し上げます。

今年もあらためて、力を合わせて前へ！



「新年を迎えて」

大和郡山市議会議員

東川 勇夫

新年明けましておめでとうございます。

市議会を代表いたしまして、謹んでごあいさつを申し上げます。

昨年、長引くコロナ禍での開催となったサッカーワールドカップでは、長年にわたり手本であり憧れであった強豪ドイツ・スペインを、見事逆転で撃破しました。格上といわれる相手に対して、臆することなくチーム一丸となり果敢に戦う様子は、私たちに沢山の感動と勇気を届けてくれました。

さて、市議会では特別委員会において議論を重ね、令和2年から建設が進められてきた新庁舎が、駐車場、交流棟の建設などを終え、いよいよ6月に全ての整備が調います。昨年、国史跡に指定され公園整備が進む郡山城跡とともに、城下町の魅力を後世に伝え、安全・安心な暮らしを支えるまちづくりの拠点・シンボルとして慕われることを期待しております。

リニア中央新幹線につきましては、昨年6月に閣議決定された骨太の方針において、建設主体が今年から名古屋・大阪間の環境影響評価の手続きに着手できるよう支援等を行うとされています。市議会では、当市に中間駅を設置すべきとする決議を行うなど取組みを進めてまいりました。「奈良市付近」とされている駅の位置やルートが示される時期が、いよいよ間近に迫っており、当市の今後の発展のため、一致協力して取り組んでまいります。

結びに、本年も市民の皆様の変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。